

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)

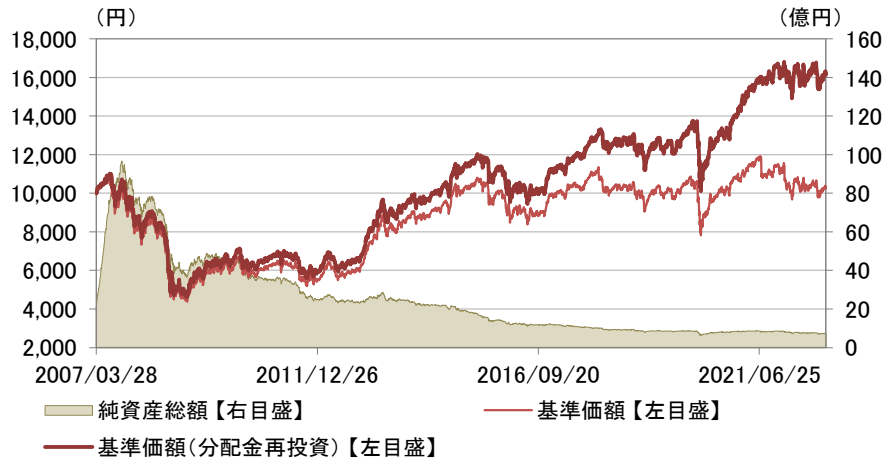
(愛称:地球ゴマ)

月次レポート

2022年  
11月30日現在

追加型投信/内外/資産複合

■ 基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	0.8%	-1.2%	0.1%	0.2%	22.2%	61.8%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 資産配分

資産クラス	比率	資産クラス	比率
株式	58.8%	日本株式	20.1%
債券	19.8%	海外株式	29.1%
オルタナティブ資産	19.6%	エマージング株式	9.6%
		海外債券	9.8%
		エマージング債券	5.0%
		ハイイールド債券	5.0%
		不動産投資信託	9.8%
		絶対収益追求型運用	9.9%

■ 投資する投資信託証券の組入比率および騰落率

資産クラス	投資信託証券	比率	騰落率		
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月
株式	日本株式				
	三菱UFJ日本株スタイル・ミックス・ファンドF(適格機関投資家限定)	7.8%	5.6%	2.6%	4.1%
	ストラテジック・バリュー・オープンF(適格機関投資家専用)	8.1%	5.6%	3.2%	4.3%
株式	海外株式				
	GIMザ・ジャパン(適格機関投資家用)	4.1%	6.3%	0.9%	2.2%
	MFS外国株グロース・ファンドF(適格機関投資家専用)	29.1%	-1.0%	-0.8%	2.2%
株式	エマージング株式				
	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)	3.8%	6.0%	-1.8%	-2.0%
	GIMエマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)	5.8%	6.4%	-2.2%	-1.6%
債券	海外債券				
	グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	9.8%	-2.4%	-1.7%	0.6%
	エマージング債券				
債券	アラリアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用)	5.0%	0.1%	-0.2%	1.5%
	ハイイールド債券				
	ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド	5.0%	1.1%	-1.5%	-4.9%
オルタナティブ資産	不動産投資信託				
	MUAM J-REITマザーファンド	0.7%	-0.1%	-2.2%	0.3%
	MUAM G-REITマザーファンド	9.1%	-2.3%	-5.5%	-5.0%
絶対収益追求型運用					
グローバル・アセット・モデル・ファンドF(適格機関投資家専用)	9.9%	-1.3%	-2.3%	-1.6%	

・各期間の騰落率は「三菱UFJ 資産設計ファンド」の運用期間に応じたものです。なお、騰落率は、各投資信託証券の評価対象日(当ファンドへの実質的な反映日)に基づいて算出したもので、通常の月次ベースの騰落率と異なる場合があります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	10,295円
前月末比	+81円
純資産総額	7.26億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第31期	2022/07/11	190円
第30期	2022/01/11	665円
第29期	2021/07/09	860円
第28期	2021/01/12	425円
第27期	2020/07/09	25円
第26期	2020/01/09	395円
設定来累計		4,665円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■ 当月の基準価額の変動要因(概算)

	寄与度(円)
日本株式	113
海外株式	-32
エマージング株式	60
海外債券	-24
エマージング債券	1
ハイイールド債券	6
不動産投資信託	-22
絶対収益追求型運用	-13
その他(信託報酬等)	-8
分配金	-
基準価額	81

- ・基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

**三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)**  
**〈愛称:地球ゴマ〉**

月次レポート

 2022年  
 11月30日現在

追加型投信／内外／資産複合

**■運用担当者コメント**
**【市況動向】**
**＜株式＞**

日本を含む先進国の株式市況は、米国の消費者物価指数の上昇率鈍化を受け、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げペースの減速期待が高まったことなどから、上昇しました。新興国の株式市況は概ね上昇しました。

**＜債券＞**

海外先進国の債券利回りは、米国の消費者物価指数の上昇率鈍化を受け、FRBによる利上げペースの減速期待が高まったことなどから、長期金利中心に低下しました。国内の債券利回りはほぼ横ばいとなりました。新興国の債券利回りは低下しました。

**＜オルタナティブ資産＞**

先進国の不動産投資信託(REIT)市況は、米国長期金利が低下したことなどから上昇しました。国内のREIT市況はほぼ横ばいとなりました。

**＜為替＞**

為替市場では、米ドルはFRBによる利上げペースの減速期待が高まったことなどから対円で下落しました。ユーロは対円で下落しました。

**【運用状況】**

◆ファンドの基本方針、基本投資割合および三菱アセット・ブレインズの助言をもとに、投資信託証券を高位に組み入れた運用を行いました。作成基準日現在の各資産および資産クラスへの投資割合は以下の通りとしております。

- ・株式58.8%(内、日本株式20.1%、海外株式29.1%、エマージング株式9.6%)
- ・債券19.8%(内、海外債券9.8%、エマージング債券5.0%、ハイイールド債券5.0%)
- ・オルタナティブ資産19.6%(内、不動産投資信託9.8%、絶対収益追求型運用9.9%)

※上記比率は、小数点以下第2位を四捨五入しており、各合計と資産クラスの合計は一致しない場合があります。

※なお、作成基準日時点で当ファンドがターゲットとする資産および資産クラスへの投資割合は以下の通りです。

- ・株式60.0%(内、日本株式20.0%、海外株式30.0%、エマージング株式10.0%)
- ・債券20.0%(内、海外債券10.0%、エマージング債券5.0%、ハイイールド債券5.0%)
- ・オルタナティブ資産20.0%(内、不動産投資信託10.0%、絶対収益追求型運用10.0%)

**【パフォーマンス状況】**

◆当月の基準価額は上昇しました。

◆資産クラス別では、日本株式に加えて、エマージング株式、ハイイールド債券などが当ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました。

◆ファンド別では、「三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF」、「ストラテジック・バリュアー・オープンF」、「GIMエマージング株式ファンドF」などが当ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました。

・三菱アセット・ブレインズの資料に基づき作成しています。  
 ・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 〈愛称:地球ゴマ〉

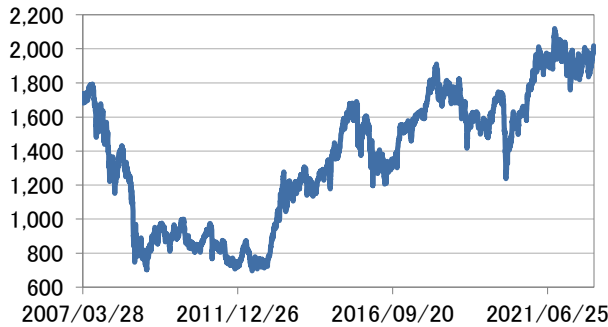
月次レポート

2022年  
 11月30日現在

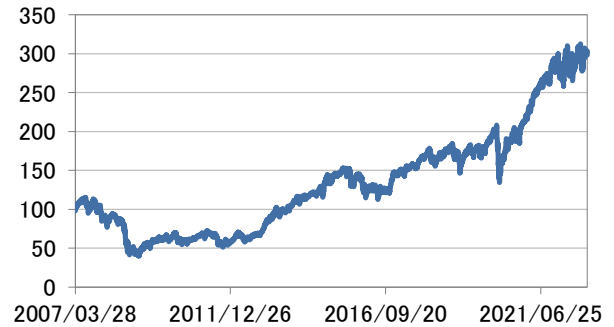
追加型投信／内外／資産複合

■【参考】市況の推移

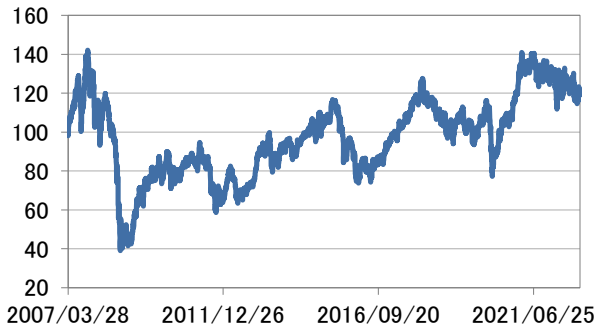
日本株式



海外株式※



エマーシング株式※



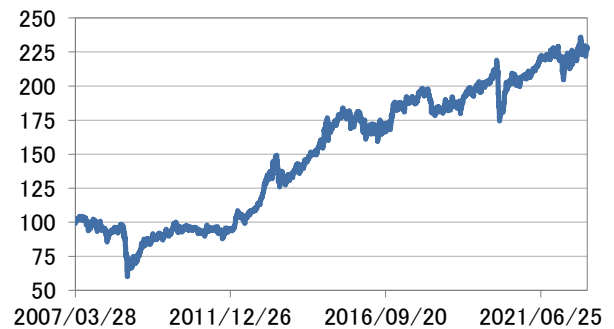
日本債券



海外債券※



エマーシング債券※



- ・日本株式: TOPIX(東証株価指数)
- ・海外株式※: MSCIコクサイ・インデックス(配当込、ヘッジなし、円ベース)
- ・エマーシング株式※: MSCI エマーシング・マーケット・インデックス(円ベース)
- ・日本債券: NOMURA-BPI総合インデックス(NOMURA-BPI 総合)
- ・海外債券※: FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- ・エマーシング債券※: JP モルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(円換算指数)

※ 設定日を100として指数化しています。

・グラフは、為替推移ならびに各資産クラスの動きを分かりやすくお伝えするために、三菱UFJ国際投信が任意に選んだ指数等の推移を示したものであり、当ファンドの各資産のベンチマークとは限りません。これらの指数等の騰落率を合成しても、当ファンドのパフォーマンスとは一致しません。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)

(愛称:地球ゴマ)

追加型投信/内外/資産複合

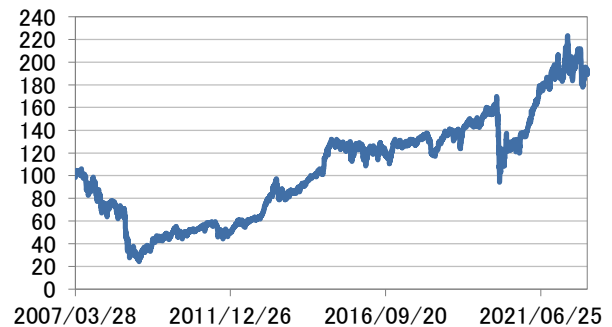
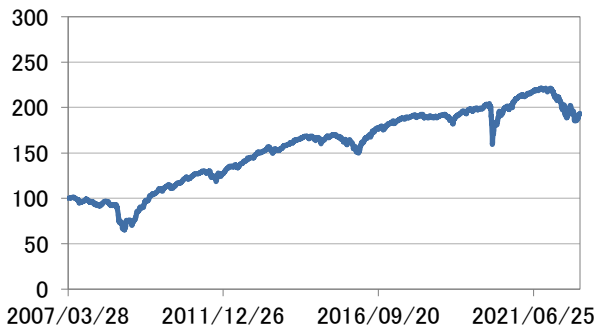
月次レポート

2022年  
11月30日現在

■【参考】市況の推移

ハイイールド債券※

不動産投資信託※



円/ユーロ

円/米ドル



- ・ハイイールド債券※:ICE BofA ノンフィナンシャル・デベロップド・マーケット・ハイイールド・コンストレインド・インデックス(円ヘッジあり、円ベース)
- ・不動産投資信託※: S&P先進国REITインデックス(配当込み、円換算ベース)

※ 設定日を100として指数化しています。

■本資料で使用している指数について

- ・TOPIX(東証株価指数)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込、ヘッジなし、円ベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されているインデックスを円換算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されているインデックスを円換算したものです。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・NOMURA-BPI総合インデックス(NOMURA-BPI 総合)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(円換算指数)とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、エマージングマーケット債市場の代表的なインデックスを円換算したものです。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。
- ・ICE BofA ノンフィナンシャル・デベロップド・マーケット・ハイイールド・コンストレインド・インデックス(円ヘッジあり、円ベース)とは、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。
- ・S&P先進国REITインデックスとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有するS&Pグローバル株価指数の採用銘柄の中から、不動産投資信託(REIT)及び同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。S&P先進国REITインデックス(配当込み、円換算ベース)は、S&P先進国REITインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P先進国REITインデックスはS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P先進国REITインデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
- ・為替相場の推移は、三菱UFJ銀行発表の対顧客電信売買相場の仲値です。
- ・グラフは、為替推移ならびに各資産クラスの動きを分かりやすくお伝えするために、三菱UFJ国際投信が任意に選んだ指数等の推移を示したものであり、当ファンドの各資産のベンチマークとは限りません。これらの指数等の騰落率を合成しても、当ファンドのパフォーマンスとは一致しません。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 〈愛称:地球ゴマ〉

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

追加型投信／内外／資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【日本株式】

三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF(適格機関投資家限定)／三菱UFJ国際投信

■基準価額(分配金再投資)の推移



・基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.781%(税抜 年0.71%))控除後の値です。  
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。  
 ・基準価額(分配金再投資)は、2007年3月29日を10,000として指数化しています。

■騰落率

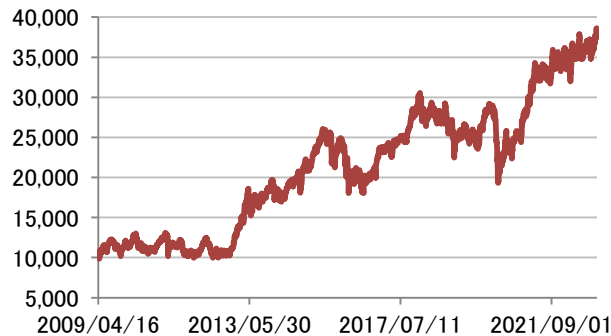
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.3%	2.1%	3.8%	1.8%	33.0%	59.2%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。  
 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

資産クラス【日本株式】

ストラテジック・バリュー・オープンF(適格機関投資家専用)／野村アセットマネジメント

■基準価額の推移



・基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.66%(税抜 年0.6%))控除後の値です。  
 ・基準価額は、組入日(2009年4月16日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.0%	3.4%	4.5%	14.2%	35.1%	280.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2009年4月16日)以降で計算しています。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 日本	97.5%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	100.0%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5銘柄

銘柄	比率
1 ソニーグループ	4.1%
2 第一三共	3.3%
3 日立製作所	2.8%
4 東京エレクトロン	2.5%
5 キーエンス	2.3%

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 日本	97.7%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	100.0%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5銘柄

銘柄	比率
1 日本電信電話	3.6%
2 ソニーグループ	3.3%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.9%
4 三井住友フィナンシャルグループ	2.9%
5 三菱地所	2.7%

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。



三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 (愛称:地球ゴマ)

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

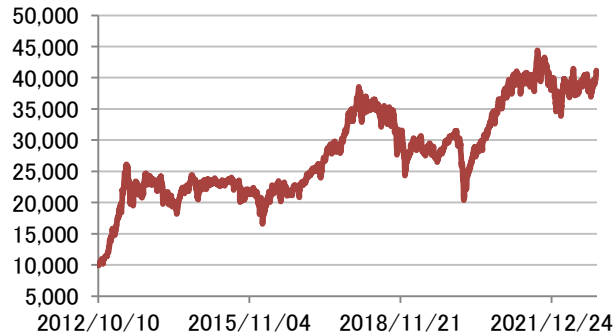
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【日本株式】

GIMザ・ジャパン(適格機関投資家用)/JPモルガン・アセット・マネジメント

■基準価額の推移



・基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.935%(税抜 年0.85%))控除後の値です。  
 ・基準価額は、組入日(2012年10月10日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.7%	1.3%	3.3%	4.6%	33.5%	308.0%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2012年10月10日)以降で計算しています。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 日本	97.4%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	100.0%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5銘柄(前月末データ)

銘柄	比率
1 IHI	5.4%
2 日揮ホールディングス	5.3%
3 リソナホールディングス	4.7%
4 セガサミーホールディングス	4.4%
5 日立造船	4.1%

資産クラス【海外株式】

MFS外国株グロース・ファンドF(適格機関投資家専用)/MFSインベストメント・マネジメント

■基準価額の推移



・基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.8657%(税抜 年0.787%))控除後の値です。  
 ・基準価額は、組入日(2009年4月16日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.0%	-0.8%	2.2%	3.2%	51.5%	506.1%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2009年4月16日)以降で計算しています。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	68.4%
2 イギリス	5.0%
3 カナダ	4.9%
4 スイス	4.6%
5 中国	4.1%

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 米ドル	73.7%
2 英ポンド	5.6%
3 ユーロ	5.5%
4 スイスフラン	4.6%
5 香港ドル	3.0%

■組入上位5銘柄(前月末データ)

銘柄	比率
1 ALPHABET INC-CL A	5.2%
2 MICROSOFT CORP	4.8%
3 CANADIAN PACIFIC RAI	2.9%
4 VISA INC-CLASS A SHA	2.7%
5 ACCENTURE PLC-CL A	2.7%

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 〈愛称:地球ゴマ〉

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

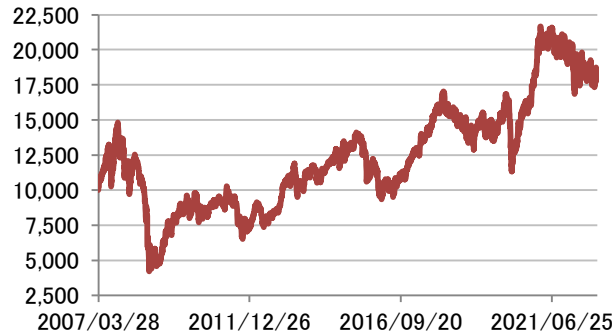
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【エマージング株式】

シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用) / シュローダー・インベストメント・マネジメント

■基準価額(分配金再投資)の推移



- ・基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年1.056%(税抜 年0.96%)控除後の値)です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、2007年3月29日を10,000として指数化しています。

■騰落率

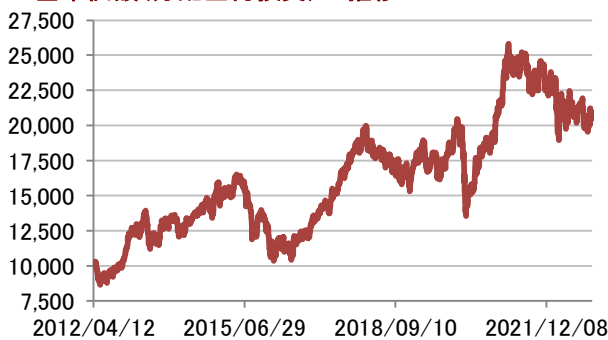
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	6.0%	-1.8%	-2.0%	-5.8%	20.9%	84.5%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

資産クラス【エマージング株式】

GIMエマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用) / JPモルガン・アセット・マネジメント

■基準価額(分配金再投資)の推移



- ・基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.946%(税抜 年0.86%)控除後の値)です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、組入日(2012年4月12日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	6.4%	-2.2%	-1.6%	-7.7%	13.2%	109.3%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2012年4月12日)以降で計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 中国	25.1%
2 台湾	14.9%
3 韓国	13.8%
4 インド	11.2%
5 ブラジル	8.1%

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 香港ドル	18.6%
2 台湾ドル	14.9%
3 韓国ウォン	13.8%
4 インドルピー	11.2%
5 米ドル	10.3%

■組入上位5銘柄

銘柄	比率
1 TAIWAN SEMICON	9.0%
2 SAMSUNG ELECTRONICS	6.2%
3 TENCENT HOLDINGS	4.5%
4 ICICI BANK LTD	2.9%
5 HDFC BANK LTD	2.5%

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 中国	30.2%
2 韓国	13.5%
3 インド	11.3%
4 台湾	10.4%
5 南アフリカ	6.0%

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 香港ドル	24.3%
2 韓国ウォン	12.8%
3 台湾ドル	10.4%
4 米ドル	9.1%
5 インドルピー	7.2%

■組入上位5銘柄(前月末データ)

銘柄	比率
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	7.2%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	4.7%
3 TENCENT HOLDINGS LIMITED	3.8%
4 HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION	3.3%
5 HDFC BANK LTD-ADR	3.0%

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 (愛称:地球ゴマ)

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

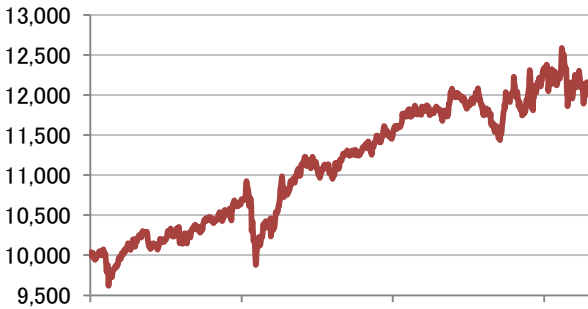
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【海外債券】

グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)/ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

■基準価額の推移



2018/11/07 2020/02/06 2021/04/27 2022/07/20

・基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.561%(税抜 年0.51%))控除後の値です。  
 ・基準価額は、組入日(2018年11月7日)を10,000として指数化しています。

■組入上位5通貨(マザーファンド純資産総額対比)

通貨	比率
1 米ドル	51.9%
2 ユーロ	24.0%
3 中国元	9.5%
4 英ポンド	3.6%
5 豪ドル	3.1%

■組入上位5銘柄(マザーファンド純資産総額対比)

銘柄	比率
1 中国国債	3.5%
2 シダー・ファンディング	2.5%
3 フレディマック	2.5%
4 ファニーメイ	2.1%
5 中国国債	1.9%

■騰落率

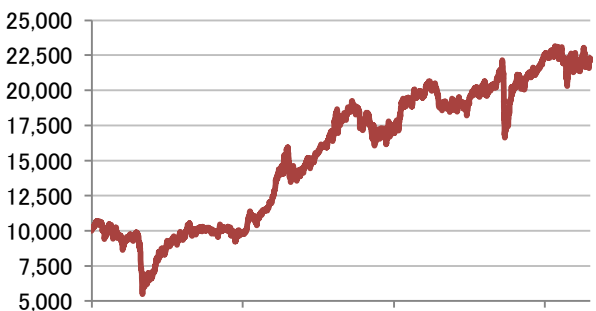
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.4%	-1.7%	0.6%	1.1%	14.0%	20.0%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2018年11月7日)以降で計算しています。

資産クラス【エマージング債券】

アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用)/アライアンス・バーンスタイン

■基準価額(分配金再投資)の推移



2007/03/28 2011/12/26 2016/09/20 2021/06/25

・基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.836%(税抜 年0.76%))控除後の値です。  
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。  
 ・基準価額(分配金再投資)は、2007年3月29日を10,000として指数化しています。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 メキシコ	10.4%
2 インドネシア	6.6%
3 ブラジル	5.5%
4 UAE	5.1%
5 チリ	5.0%

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 米ドル	98.2%
2 ブラジルレアル	1.9%
3 コロンビアペソ	0.0%
4 日本円	-0.0%
5 ユーロ	-0.0%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.1%	-0.2%	1.5%	-0.2%	8.9%	122.9%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は「三菱UFJ 資産設計ファンド」の運用期間に応じたものです。  
 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。



三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 〈愛称:地球ゴマ〉

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

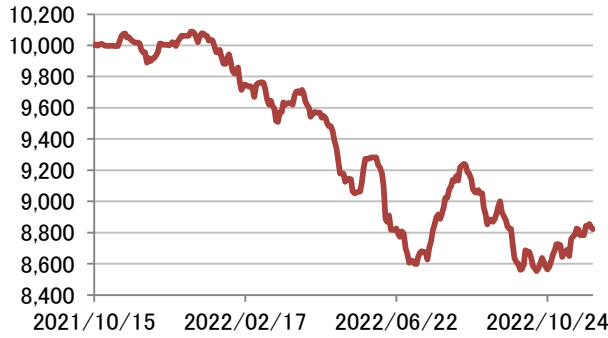
追加型投信／内外／資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【ハイイールド債券】

ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド／ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド、ベアリングス・エルエルシー

■基準価額の推移



・基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.6%)控除後の値です。  
 ・基準価額は、組入日(2021年10月15日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.1%	-1.5%	-4.9%	-11.0%	—	-11.8%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。  
 また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2021年10月15日)以降で計算していません。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	62.9%
2 イギリス	6.1%
3 フランス	4.3%
4 ドイツ	3.0%
5 スペイン	1.9%

・ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンドが投資するマスターファンドにおける値です。

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	100.0%
2 —	—
3 —	—
4 —	—
5 —	—

・ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンドにおける為替ヘッジ考慮後の値です。

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 (愛称:地球ゴマ)

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

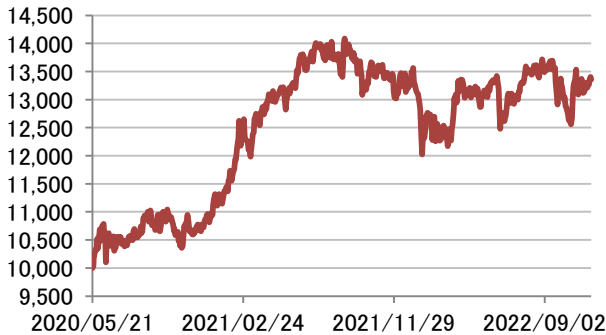
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【不動産投資信託】

MUAM J-REITマザーファンド/三菱UFJ国際投信

■基準価額の推移



・基準価額は、組入日(2020年5月21日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.1%	-2.2%	0.3%	2.5%	-	33.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2020年5月21日)以降で計算しています。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 日本	98.2%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 日本円	100.0%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

■組入上位5銘柄

銘柄	比率
1 日本ビルファンド投資法人	6.8%
2 野村不動産マスターファンド投資法人	5.4%
3 日本都市ファンド投資法人	5.3%
4 ジャパンリアルエステイト投資法人	4.9%
5 GLP投資法人	4.9%

資産クラス【不動産投資信託】

MUAM G-REITマザーファンド/三菱UFJ国際投信

■基準価額の推移



・基準価額は、2007年3月30日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.3%	-5.5%	-5.0%	-0.6%	20.7%	79.4%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は「三菱UFJ 資産設計ファンド」の運用期間に応じたものです。

■組入上位5カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	74.2%
2 オーストラリア	6.4%
3 イギリス	4.6%
4 シンガポール	3.4%
5 カナダ	1.8%

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 米ドル	77.7%
2 豪ドル	6.7%
3 英ポンド	4.8%
4 ユーロ	3.4%
5 シンガポールドル	3.4%

■組入上位5銘柄

銘柄	比率
1 PROLOGIS INC	7.9%
2 EQUINIX INC	4.6%
3 PUBLIC STORAGE	3.4%
4 REALTY INCOME CORP	2.9%
5 SIMON PROPERTY GROUP INC	2.9%

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)  
 (愛称:地球ゴマ)

月次レポート

2022年  
 11月30日現在

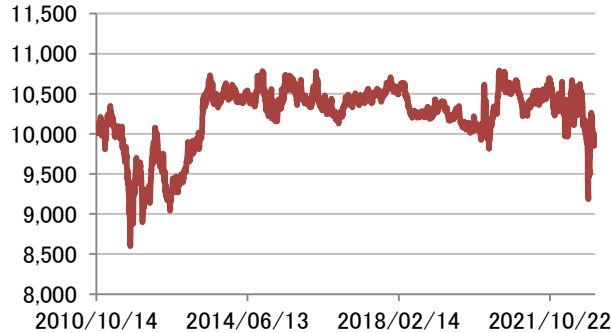
追加型投信/内外/資産複合

【ご参考】『三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)』が投資する投資信託証券(ファンド)の状況

資産クラス【絶対収益追求型運用】

グローバル・アセット・モデル・ファンドF(適格機関投資家専用) / 野村アセットマネジメント

■基準価額の推移



・基準価額は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.99%(税抜 年0.90%)+成功報酬)控除後の値です。  
 ・基準価額は、組入日(2010年10月14日)を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.7%	-1.3%	-1.6%	-3.5%	-1.5%	-0.5%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 ・設定来(各期間の騰落率)は組入日(2010年10月14日)以降で計算しています。

■組入上位3通貨(ロング)(前月末データ)

通貨	比率
1 ユーロ	54.9%
2 米ドル	30.7%
3 スウェーデンクローナ	25.5%

・日本円を除いて表示しています。

■組入上位3通貨(ショート)(前月末データ)

通貨	比率
1 ニュージーランドドル	-53.0%
2 スイスフラン	-51.3%
3 英ポンド	-12.4%

・日本円を除いて表示しています。

■株式組入上位3カ国・地域(ロング)(前月末データ)

国・地域	比率
1 スイス	8.4%
2 カナダ	7.1%
3 日本	6.5%

■株式組入上位3カ国・地域(ショート)(前月末データ)

国・地域	比率
1 イギリス	-14.2%
2 イタリア	-13.8%
3 オーストラリア	-12.4%

■債券組入上位3カ国・地域(ロング)(前月末データ)

国・地域	比率
1 イギリス	85.0%
2 日本	18.3%
3 オーストラリア	12.5%

■債券組入上位3カ国・地域(ショート)(前月末データ)

国・地域	比率
1 カナダ	-49.7%
2 アメリカ	-14.7%
3 ドイツ	-14.6%

・三菱アセット・ブレインズから提供された各運用会社のデータに基づいて三菱UFJ国際投信が作成した概算値であり、当データの正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)

〈愛称:地球ゴマ〉

追加型投信／内外／資産複合

### ファンドの目的・特色

#### ■ファンドの目的

世界の株式・債券・オルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、値上がり益の獲得をめざします。

#### ■ファンドの特色

**特色1 世界の株式・債券といった伝統的資産のみならず、不動産投資信託・絶対収益追求型運用といったオルタナティブ資産を加えた幅広い投資対象に分散投資します。**

・実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

ただし、投資対象に適した、為替ヘッジを行わない投資信託証券が存在しない場合には、為替ヘッジを行う投資信託証券へ投資することがあります。

その場合、当該投資信託証券における組入外貨建資産については為替相場の変動による影響が低減されるため、ファンド全体では為替相場の変動の影響が小さくなります。

**特色2 お客様の投資目標に合わせて、投資対象とする資産クラスおよび投資比率が異なる、「分配型」「バランス型」「株式重視型」の3ファンドをご用意いたします。**

・「株式重視型」は、成長性が期待される株式を組み入れの中心とし、信託財産の成長をめざします。

・それぞれのファンド間でスイッチング(乗換え)可能です。スイッチングの際は、換金するファンドに対して信託財産留保額および税金がかかります。

**特色3 投資信託の調査・評価の専門会社である三菱アセット・ブレインズ株式会社から助言を受け、各資産クラスについて厳選した投資信託証券(ファンド)を組み入れます。**

**特色4 「株式重視型」は年2回、毎決算時に分配を行います。**

・「株式重視型」の分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

・「株式重視型」の決算日は、1・7月の各9日(休業日の場合は翌営業日)とします。

#### ■ファンドの仕組み

・運用はファンド・オブ・ファンズ方式により行います。

＜投資対象ファンド＞

三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF(適格機関投資家限定)

ストラテジック・バリュー・オープンF(適格機関投資家専用)

GIMザ・ジャパン(適格機関投資家用)

MFS外国株グロース・ファンドF(適格機関投資家専用)

シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)

GIMエマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)

三菱UFJ 日本債券ファンドF(適格機関投資家限定)

ノムラ日本債券オープンF(適格機関投資家専用)

グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)

アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用)

ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド\*

MUAM J-REITマザーファンド

MUAM G-REITマザーファンド

グローバル・アセット・モデル・ファンドF(適格機関投資家専用)

\* 為替ヘッジを行う投資信託証券です。

すべての投資信託証券に投資を行うとは限りません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)

〈愛称:地球ゴマ〉

追加型投信／内外／資産複合

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

<b>価格変動 リスク</b>	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動し、また、不動産投資信託証券の価格は保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減等により変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入公社債、組入不動産投資信託証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
<b>為替変動 リスク</b>	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。ただし、投資対象に適した、為替ヘッジを行わない投資信託証券が存在せず、為替ヘッジを行う投資信託証券へ投資する場合には、当該投資信託証券における組入外貨建資産について為替相場の変動による影響が低減されるため、ファンド全体では為替相場の変動の影響が小さくなります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
<b>信用 リスク</b>	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
<b>流動性 リスク</b>	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、不動産投資信託証券は、株式と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。
<b>カントリー・ リスク</b>	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

投資対象とする投資信託証券には、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としているものがあり、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

#### ■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



## 三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型) (愛称:地球ゴマ)

追加型投信/内外/資産複合

### 手続・手数料等

#### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(2007年3月28日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年1・7月の9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

# 三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型) (愛称:地球ゴマ)

追加型投信/内外/資産複合

## 手続・手数料等

### ■ファンドの費用

#### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.2%(税抜 2%)**(販売会社が定めます)  
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.2%**をかけた額

#### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

##### <三菱UFJ 資産設計ファンド(分配型)>

当該ファンド 日々の純資産総額に対して、**年率0.935%(税抜 年率0.85%)**をかけた額

投資対象とする  
投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して、**年率0.64%~0.67%(税込)程度**をかけた額

実質的な負担 当該ファンドの純資産総額に対して、**年率1.57%~1.61%(税込)程度**をかけた額

##### <三菱UFJ 資産設計ファンド(バランス型)>

当該ファンド 日々の純資産総額に対して、**年率1.045%(税抜 年率0.95%)**をかけた額

投資対象とする  
投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して、**年率0.63%~0.68%(税込)程度**をかけた額

実質的な負担 当該ファンドの純資産総額に対して、**年率1.68%~1.72%(税込)程度**をかけた額

運用管理費用  
(信託報酬)

##### <三菱UFJ 資産設計ファンド(株式重視型)>

当該ファンド 日々の純資産総額に対して、**年率1.155%(税抜 年率1.05%)**をかけた額

投資対象とする  
投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して、**年率0.71%~0.78%(税込)程度**をかけた額

実質的な負担 当該ファンドの純資産総額に対して、**年率1.87%~1.93%(税込)程度**をかけた額

※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な信託報酬率(概算値)を算出したものです。各投資信託証券への投資比率が変動する可能性や投資信託証券の変更の可能性があること、また別途成功報酬がかかる投資信託証券が含まれていることから、実質的な料率は変動します。したがって事前に固定の料率、上限額等を表示することはできません。  
※上場投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

その他の費用・  
手数料

監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・投資対象とする投資信託証券の換金に伴う信託財産留保額・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。  
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:三菱UFJ資産設計ファンド(株式重視型)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
	登録金融機関	登録番号				
株式会社三菱UFJ銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(※)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○